

 NCJTA NEWSLETTER
北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第 38 号・2013 年 3 月発行

北加日本語教師会 2013 年春の例会

Sunday, April 28, 2013

San Francisco State University

会長挨拶



会長挨拶・お知らせ
グラント文子

温暖化と関係があるのでしょうか。日本では今年もまた桜の開花が早くなったそうです。春学期には欠かさず日本語のクラスで学生に「桜前線」や「桜の開花予想表」というものを見せて、日本人と桜文化について話しています。私のコンピューターはいつも「Asahi.com」でオープンするのですが、今は桜開花のニュースでにぎわっています。「お花見」というとワンパターンのイメージで懐かしい思いにふけたものですが、今はいわゆるヤングもしっかりヤング風にお花見を楽しんでいるようです。「桜文化」は今も健在で時代に変遷はあってもしっかりと日本に定着して来ていると感じます。三十五年前に日本からベイエリアに渡りました私には、当時に比べると随分桜の木々があちこちで目につくようになって来たのに気がつきます。桜も寿司と同様にアメリカの文化に受け入れられて来ているのでしょうか。

そのような季節柄、日本語関係で教鞭をとっていらっしゃる先生方には多忙な毎日をお送りの事と存じます。加州公立校の財政削減等で学校での日本語教育もあまり芳しいニュースを耳に致しません。そのような昨今、先達でサンフランシスコ領事館の渡邊首席領事から北加日本語教師会役員に「今後の日本語教師会／教育機関のあり方」を主題にした会食のお招きがありました。このような会は今回が初めてで、有意義な時間を過ごすことができました。結論としてはやはり今後現存する各日本語教育関係機関との相互のつながりが大切だという事でその橋渡しを積極的に領事館が設ける事で出席者の了解を得ました。我々も少し縮小気味に感じられる日本語教育会に新たな力となればと期待しております。

さてここにまた北加日本語教師会会員の皆様に春の例会のご案内をさせていただきます。今回は国際交流基金の支援のもとに「日本のポップカルチャーを日本語教育でどのように生かすべきか」というテーマでアリゾナ州立大学の Bradley Wilson 先生をお招きして講演／ワークショップをして頂きます。ウィルソン先生は日本のポップカルチャーの研究を専門に、日本語教育にも携わっていらっしゃる、「Japanese Popular Culture: From Interest to Education」というテーマで講演もなさっています。既に皆様も授業では何らかのかたちで J ポップカルチャーを導入していらっしゃると思います。ポップカルチャーとは何なのか、又、授業に取り入れる利点や教材を選ぶ時のポイントなどについてお話しして頂きます。そして午後は NEW PEOPLE の吉田氏からのフィルムを中心にした教材紹介、続いてパロアルト市ヘンリー・ガン高校の疋田先生にはアニメを使った

日本語授業の紹介をして頂きます。その後出席者の方々は学校のレベル別に別れてこちらで用意しました教材に基づいた簡単な教案作りをし、全体でシェアリングをして終わるという予定を組んでおります。十時から二時半頃までを予定しておりますが盛り沢山の内容で皆様に充実した時間を過ごして頂けたらと願っております。前回のようにまた会員の方にはこちらで御弁当を用意させて頂きます。今回は国際交流基金から助成金も出ておりますのであとの報告書も待っております。この例会が成功につながるためにも是非皆様のご参加をお願い申し上げます。詳しくは下記の「北加日本語教師会春の例会」欄をご覧ください。

最後になりましたが、今回をもって私も会長任期をなんとか無事に終わらせて頂けそうです。この二年間会員の皆様や役員の方々に支えていただいて、我々の会が増々成長発展を遂げる方向に向かっていると心強く感じる次第でございます。長年役職についている方々、引き継ぎの関係で三年目に入る役員の方々もいらっしゃいますが、この二年間のご支援誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。私も今後とも何かのかたちで北加日本語教師会でお役に立てればと思っております。就きましては下記の役職が任期満了となりますので新たに会員の方でご興味のある方の立候補を募っています。任期は二年です。（ ）内は現在の役職担当者名です。

会長（グラント） 書記（伊藤） 会計（猪俣） コミュニティーカレッジ（空席）
高校代表（森川） 大学代表（神原）

ご興味のある方は下記の「お知らせ」欄をご覧ください。

四月には日本町で桜祭りの催しもあり、忙しい週末を送られる先生方も多々おいでのことかと存じます。その一週間後が北加日本語教師会の例会です。会員の皆様、その週末にもう一息足を運んで教師会にお越しくださいませ。皆様にお目にかかれまことを心から楽しみに致しております。

NCJTA 2013 春の例会



北加日本語教師会春の例会 NCJTA Spring Conference

『ポップカルチャーと日本語教育』

NCJTA Spring Conference

4月28日(日)@サンフランシスコ州立大学

4月28日、学生の関心が高い日本のポップカルチャーを使い、学習効果を上げている教授法をテーマに、春の例会を開催します。

- 日時：4月28日（日曜日） 午前10時より午後2時半まで
- 場所：サンフランシスコ州立大学（HMU Building）
- テーマ：「ポップカルチャーと日本語教育」
- プログラム：
 - 10:00~12:00 セミナー『日本のポップカルチャーを日本語教育にどう生かすか』
アリゾナ州立大学 ウイルソン先生
 - 12:00~12:45 親睦ランチ(特製和食弁当 会員無料/非会員実費)
 - 12:45~13:35 ー日本映画を利用した教材紹介
ニューピープル 吉田氏
ープレゼンテーション『アニメと日本語』
ヘンリー・ガン高校 疋田先生
 - 13:35~14:30 レベル別教材作りとその交換発表

前回好評だった和食弁当をいただきながら、ネットワークを広げる懇談タイムもお楽しみください。会員の方のお弁当は無料になりますが、お弁当用意の都合上、4月17日必

NCJTA 会計から



NCJTA 2013 春の役員会報告



着の参加申し込みが必要です。前春季例会同様に、会員が非会員一名を同伴いただけます。同伴なさる非会員の方でお弁当をご希望の方は、会員の方が併せてお申し込みくださればご用意いたします。その場合は、お弁当代実費 15 ドルをお支払いいただくことになります。尚、今回もお茶は JFC (Japan Food Corporation International)様よりご寄付頂くことになっております。みなさまお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

- 申し込み締め切り：**4月17日（水曜日）**
- 申し込み用紙：添付の用紙をご使用ください。添付申し込み用紙に、ご希望のお弁当を明記して、4月17日必着でお申し込みください。同伴の非会員のお弁当も、併記してお申し込みください。

NCJTA 会計から

NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。2013 年度分の会費（2013 年 1 月から 12 月末まで有効）を年会費納入用紙といっしょに送ってくださるか、春の例会でお支払いください。昨年までの会費を払っていらっしゃる方も今年のみ会の会費で結構です。皆様のご協力をお願いいたします。

春の例会では、事前にお申し込みいただいた会員の方に、お弁当を無料でお配りいたします。非会員の方は 15 ドルでお申し込みいただけます。本ニュースレター添付の申込用紙を猪俣まで、ご送付ください。申込締切日は **4月17日、水曜日**（必着）です。

NCJTA は 2007 年に非営利団体 (non profit organization) となり、寄付を受けることができるようになりました。現在 Japan Society of Northern California、IACE Travel、大阪大学から NCJTA のウェブサイトの広告一つ分 100 ドルの寄付をいただいています。スポンサーになってくださりそうな方をご存知の方は、会計猪俣までご連絡いただければ幸いです。（文責：猪俣公克）

2013 年 春の役員会報告

日時：2013 年 1 月 27 日（日曜日）午後 12 時～3 時

場所：4406 Dwinelle Hall, UC Berkeley

出席者：加藤（総領事館）、グラント、高松、猪俣、須田、森岡、オブライアン、真木、神原、南（役員名簿順）、伊藤（記）

1. 春の例会について

会場：サンフランシスコ州立大学

日時：4 月 28 日（日曜日）午前 10 時から午後 2 時半まで

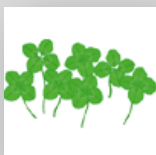
午前中はアリゾナ州立大学の Bradley Wilson 氏を招き、日本のポップカルチャーに関するワークショップを開催する。お昼はお弁当を食べながら懇親の時間を設け、午後は NEW PEOPLE の吉田氏による「Happy Family Plan」という DVD の紹介と参加者による話し合いを予定している。

2. 春のニュースレター、会員メールのサーバーについて

3. 役員改選について

六つのポジションが 2013 年春で任期満了となるため、ニュースレターで立候補者を募り、春の例会で選挙、または承認を行う。任期満了となるポジションは以下の通りである。

NCJTA 秋の例会報告



お知らせ



会長、書記、会計、高校代表、コミュニティーカレッジ代表、大学代表

4. 加藤氏（総領事館）からの報告

- 1) 2月9日（土）、10日（日）にサンフランシスコ市内ユニオンスクエアにおいて、訪日観光促進イベント「Visit Japan Festival in San Francisco」が開催される。
- 2) 3月3日（日）に Japanese Cultural & Community Center of Northern California にて「第41回小学生日本語お話大会」が開催される。
- 3) JET Program Coordinator の Peter Weber 氏が昨年末で辞任され、後任が決まったら後日連絡がある。
(文責：伊藤潤子)

2012年 NCJTA 秋の例会報告

NCJTA 秋の例会は10月27日（日）午後3時から3時45分までサンフランシスコ州立大学で開催されました。例会では、カリフォルニア大学バークレー校の長谷川葉子先生が「不自然な日本語の罣り」と題して大変興味深い講演をして下さいました。同校の日本語プログラムでは、新しい講師の先生を選考する際、審査の一環として、不自然な日本文の解説をしてもらうそうです。ところが、母語話者の中でも容認度の評価が異なることで、不自然な文の例として、以下のような文が紹介されました。

「味噌汁の味は家族によってそれぞれ違う」
「毎日ジョギングしているおかげで、最近調子いいんだよ」
「試験を取る」「Windows Vista がサクサク走る」

では、どうして人によって容認度の差が出て来るのでしょうか。それは、言葉は絶えず変化し、必要に応じてそれまで聞いたことがない表現が作られ、不自然だと思われた構文や表現が現在の日本語を形作ってきたからだそうです。それが著しかったのが明治時代で、講演では明治期の言文一致運動を中心にお話しして下さいました。「文法知識は明文化されたルールではないので、一人一人の文法が違って当たり前である。でも、非母語話者がおかしな文を書いたら、それは文法を習得していないせいなので、指摘する必要がある。しかし、教師がなぜおかしいのか説明できない場合は、よしとしないだろう。それは、説明できないことを指摘しても、学生は何も学べないからだ。」長谷川先生の講演を通して、現代の日本語がどうやって形成されたかだけでなく、言語の変化の進行途上を観察することの大切さについても考えさせられました。

(文責：伊藤潤子)

お知らせ

北加日本語教師会 (NCJTA) 役員改選のお知らせ

北加日本語教師会役員の六つのポジション（会長、書記、会計、高校代表、コミュニティーカレッジ代表、大学代表）が2013年春で任期満了になります。役員に立候補ご希望、もしくはどなたかを推薦されたい方は添付の用紙にご記入の上、下記住所までご郵送ください。（4月17日必着グラントまで）

宛先：Fumiko Grant
City College of San Francisco,
50 Phelan Avenue A58, San Francisco, CA 94112

桜祭り 書道展のお知らせ

ベイエリア書道愛好会は、桜祭り期間中の、4月20日21日11時から5時まで Japanese Culture and Community Center of Northern California (1840 Sutter St., San Francisco) に於いて参加型書道展を開催する。20日2時から3時まで、および21日3時半から4時半まで、アジア美術館に作品が展示されている加藤シホウ氏のダイナミックな実演がおこなわれる。21日正午には、川初正人氏による実演もある。様々なバックグラウンドや年齢層の参加者が書道を体験するさまざまなアクティビティーがあり、例年盛況だ。同会は、日本文化の紹介と次世代への日本文化の継承を目的に活動する書道家の集まり。今年も、日本語を学ぶ生徒学生の参加をのっている。お問い合わせは、唐橋秋栄(akinokara@hayoo.co.jp) まで。

在サンフランシスコ
日本国総領事館イン
フォメーションセン
ターから



領事館インフォメーションセンターから

サンフランシスコ日本総領事館猪俣総領事 北加日本語教師会に表彰状を授与

サンフランシスコ日本総領事館猪俣総領事は、設立40周年を迎えた北カリフォルニア日本語教師会が、日本語教育の発展および日本に対する理解促進のために尽力し日米の友好親善と相互理解の促進に貢献したことを称え、11月27日表彰状を授与しました。

第41回 小学生日本語お話大会

3月3日(日曜日)、当館及び北加日米会共催による「第41回小学生日本語お話大会」を、北加日本文化コミュニティーセンターにて開催しました。今年は、36名の小学生が参加し、日頃の学習の成果を披露しました。学校やご家族をはじめ、約210名の方々が応援に来られ、大変盛会な大会となりました。コンテスト終了後、審査委員長の渡邊当館首席領事からは大変レベルが高く、接戦であったとの講評がありました。本大会に出場するために練習に練習を重ねた出場者の皆さんの健闘を讃えました。

北加日本語教師会役員との懇親会

3月7日サンフランシスコ市内で、渡邊首席領事と北加日本語教師会役員との懇親会が開かれました。このような教師会と領事館との懇親会が設けられたのは初めてで、当地に於ける日本語教育活性化に向けて活発な意見交換が行われました。今後は、領事館がこのような機会をさらに設けて教師会や日本語教育機関相互の横のつながりが発展してゆく手助けとなるように望んでいます。

北加 JET 同窓会奨学金プログラムについて

The JETAANC scholarship is open to students of U.S. citizenship or lawful permanent residency residing in California counties north of San Luis Obispo, Kern, and San Bernardino counties, as well as all of Nevada. Applicants are judged on a number of criteria including a demonstrated interest in Japan, Japanese language or Japanese culture, academic accomplishments, a personal essay and recommendations.

Applications for the 2013 scholarship can be downloaded from the JETAANC website (www.jetaanc.org/scholarship/) and applications are due by Monday, April 22, 2013. The winner will be announced in May 2013. For further information on the program as well as general information about the JET program and alumni association please visit www.jetaanc.org or send an email to scholarship@jetaanc.org.

JIC の学校訪問プログラムについて

Starting this May, the Consulate General of Japan San Francisco will be offering an educational outreach school visit program where Consulate staff can help teachers promote an understanding of Japan in their classrooms. This program is presented for free to teachers of all subjects and grade levels throughout the Bay Area. If you are interested in having Consulate staff visit your classroom to present to students on a Japan-related topic as part of your curriculum, then contact our [education programs coordinator](#) for more details.

第 40 回日本語弁論大会の開催について

在サンフランシスコ日本国総領事館及び北加日米会は、第40回日本語弁論大会を下記の通り開催致します。本弁論大会に関する詳細については、総領事館のホームページにも掲載されておりますので、ぜひご覧下さい。

- 日時：2013年11月3日（日）中高生の部：9時30分～、大学生・成人の部：13時30分～
- 会場：未定

第 28 期 JET プログラムについて

第 28 期 JET プログラムの応募に関する情報が、2013 年の秋頃より、オンラインにて入手可能になる予定です。応募に関する情報等は、在米日本国大使館ホームページ (<http://www.us.emb-japan.go.jp/JET/>) をご参照下さい。なお、当館のホームページにも、JET プログラム募集広報や JET プログラムに関する詳細情報が掲載されておりますので、ご参照下さい(<http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/jet/index.htm>)。当館スタッフによる学校訪問及び JET プログラムに関する説明会をご希望の方は担当ザンダー・ピーターソン（電話 415-356-4262）jet@sr.mofa.go.jp までご連絡下さい。

『言葉の窓』



『学び続ける』 ノースサリナス高校 安座間喜治

ACTFL Teacher of the Year 選考過程で、「The Value of Learning Language and Culture」という課題がありました。はじめは、日本語教師だけでなく様々な外国語教師全員の代表として書かなければならないと思い、肩の荷が重かったのですが、友人に、「君の個人的な経験を通した生の声が聞きたいな。きっと他の人もそれに共感するはず」とアドバイスされました。自分の事なら幾らでも話せると、私は気持ちが軽くなって書き始めました。



私が育った 70-80 年代の沖縄は、まさに沖縄方言で言う

「チャンプルー」（混ざり合った）時代でした。家のなかではウチナーグチを聞きながらゴーヤーチャンプルーを食べ、学校では日本の教育を受け、帰り道で駄菓子をドルで買い、夜は極東放送のアメリカ軍人のためのプログラムに聞き浸るという生活でした。小学校の頃に定例だった親戚のビーチパーティーは、沖縄、日本、アメリカの文化が一つのバーベキューグリルのまわりで交差する、今考えると不思議な光景でした。三つの文化の独特なコミュニケーションの仕方、立ち振舞、言葉のサウンドは 10 歳の地元の小学生には魅力的でした。ぼんやりとですが、それぞれの文化の価値観、考え方の相違点などに薄々と気がつき始めたのを覚えています。お酒の入った大人たちが片言の英語と日本語で政治の話を熱く討論しているかと思いきや、最後はカチャーシーで一緒に踊ってお開きという経験はいい思い出です。

そのぼんやりとしていた小学生も中学校で反抗期を迎えることになります。「ツッパリ」という言葉はもう死語だということは了解の上あえて使わせていただきますが、赤いモヒカンでロックを聞いていた私はまさに「ツッパリ」そのものでした。どうしていいか分からず手を焼いていた両親は、最後の決断をすることになります。ワシントン州での夏季ミュージックキャンプに無断で申し込まれて、行く羽目になりました。「可愛い子には旅をさせろ」という諺はよく言ったものですが、当時の私は、それを島流しの刑だと確信しました。ルームメイトもピアノの先生もアメリカ人で、最初の2週間は英語が分からなくて誰とも話せませんでした。そんな私も徐々に「音楽」という共通言語を通して他の学生たちと友だちになれ、次第に英語も覚えて来ました。初めのうちはどうしても **uncomfortable** だった私が、最後には家に帰りたくないと思うほどになったというのはどうしてでしょうか？ただラッキーだったのでしょうか？

最近友人のカイロプラクティック神経科医とランチをしている時に、その答えになる鍵を聞きました。**Cognitive Dissonance** という言葉です。それは一見対比しているように見える情報、既に持っている知識に相反する様な情報が脳に入る時に、脳がそれを理解しようとする時に起こるプロセスの事です。脳はその違いがあまりに大きすぎると拒絶して元の考えに戻ることになりますが、違いが適度の場合その新しいコンセプトやスキルを取り入れることが出来ます。第二外国語学習者の脳が適応性、応用性、創造性に長けているとリサーチでも言われるのは言語を習得し文化を理解しようとするときに、**Cognitive Dissonance** に挑戦する機会が与えられているからかもしれません。その **Cognitive Dissonance** に挑戦することを喜びに感じる学習者は、人生の「勝ち組」かもしれません。

数年前に出版された **Mindset** という本で著者の Dr. Carol Dweck は **Fixed mindset** と **Growth mindset** について述べています。**Fixed mindset** の学習者は「スマートさ」は生まれ持った物で A を貰うことに集中しがちですが、**Growth Mindset** の学習者は難しいタスクを克服していくことに喜びを感じるそうです。もちろん後者のほうが長い目で見て、また生涯教育という点でもいいと言えるでしょう。そういう **Growth mindset** の学習者を育てるには学習目的、学習方法、効果的なフィードバックなどを検討していくことが大切です。でも何より最初に、私達教師自身の **Growth Mindset** が必要でしょう。メンターの一人が、教え始めて5年ほど経ち自信を持ち始めた私に言った事をまだ覚えています。「Yo, if you are too comfortable with teaching, you are not doing it right.」と言われてハッとしました。これからの目標として、その **Cognitive Dissonance** を意識して自分に挑戦しつつ、生徒を生涯学習者に育てていける教師に成る為に、日々の努力をしていくつもりです。

日本語教育 関連ニュース



日本語教育関連ニュース

「日米友好関係に貢献」教師会受賞



北カリフォルニア日本語教師会は、設立以来40年間にわたり「日本語教育の普及および日米友好関係の促進」に貢献したことを認められ、日本国サンフランシスコ猪俣弘司総領事より名誉ある「総領事表彰」を授与されました。さる11月27日、FLANCの秋のコンフェレンスにて行われた表彰状の授与式で、グラント会長が歴代会長と会員を代

表して、代理の鈴木領事から表彰状を受け取りました。鈴木領事は、「日本語教師は、生徒たちにとって初めて出会う『日本』であり、日米友好のためにも、国際理解のためにも、きわめて重要な役目を果たしています」と述べ「これからもスピーチコンテストや、奨学金プログラムなどを通じて、教師会の働きを支援してゆきたい」と祝辞を締めくくりました。以下に、領事館の許可を得て祝辞全文を掲載します。

鈴木領事の表彰式での祝辞

I am very happy to be here at this meeting and see you all here today. My name is Masato Suzuki, and I am the director of the Japan Information Center at the Consulate General of Japan San Francisco.

At the Consulate General, we sincerely appreciate and respect the wonderful work that teachers do to promote international understanding through education, especially the efforts of the Northern California Japanese Teachers' Association. For the past 40 years, the NCJTA has worked tirelessly to promote a better understanding of Japan and Japanese through language education in Northern California, and has made tremendous contributions to US-Japan relations in that respect.

As educators, I'm sure that you know better than most how important children are to our future. The first point of contact that many students will have with Japan and Japanese is through their teacher, and so it is clear to me that teachers are a vital resource for promoting better international relations because they have the most influence on the first impression that a student has of the rest of the world. As a diplomat, I know that communication is a vital part of international relations, and I know that the contributions that our teachers make towards improving that communication through education are vital. In that respect, we share a common goal.

At the Consulate General, we are always looking to try and support Japanese language education in any way that we can. This year, we are looking to expand that support by offering school visit programs, speech contest programs, and scholarship programs to teachers and students involved with Japanese. If you would like to be a part of these programs or have any ideas about how we can better support our teachers, please feel free to contact my office at any time.

For the past 40 years, the NCJTA has worked tirelessly to promote Japanese and Japanese language education here in Northern California. It is my sincere wish that going forward, we can enjoy another 40 years of cooperation through education. Thank you very much.

カリフォルニア州立大学フレズノ校冬期集中講義

カリフォルニア州立大学フレズノ校では、隔年で『日本の言語と文化』の冬期集中講義を開講しています。年末年始の3週間を日本で過ごし、毎日の生活の中で日本を体験学習してもらおうというものです。今年の参加者は、男子学生7名、女子学生3名の計10名。期間中、水戸・倉敷・京都・東京に滞在し、地域の学生や住民の方々と餅つき、初詣、等この時期ならではの日本の行事にも参加しました。学生たちに好評だったのは、倉敷での小学校一日入学。英語の授業に参加し英会話の練習をしたり、書き初め大会で初めて毛筆に挑戦したり、給食、校内掃除も小学生と一緒に行いました。この写真は、水戸市歴史館で行われた十二単の着付けデモンストレーションの時のものです。当館のおはからいで、急遽女子学生に十二単を着付けをして下さいました。この集中講義を通して、学生たちは日本への興味と日本語への学習意欲を深めています。

(文責：小笹知子)



「お茶三昧」茶の湯文化国際会議 平和を願い日本文化を国際発信

昨年 11 月 10 日にサンフランシスコ州立大学、サンフランシスコ大学、デリーナ武山日本文化研究センターの共催で第一回「お茶三昧」茶の湯と茶文化に関するサンフランシスコ国際会議が開催された。日本語を学ぶ大学生、一般市民、表千家 裏千家 武者小路千家などあらゆる宗派の茶人 160 名が一堂に会し、日本からの特別講師二名の講演など茶の湯文化をテーマとしたさまざまな学術発表や招待客のための茶会が行われた。韓国のティーセレモニーの紹介などもあり、茶の湯という日本文化を国際コンテキストで考え直す手だてとなったと好評だった。会議の成果は、日本の茶道雑誌に大きく取り上げられた。



今年は、第二回が 11 月 16 日（土）にサンフランシスコ州立大学で開催される。細川護熙元首相による「開催の辞」（文書）や、日本初めアメリカからの学術発表、禅堂の食事作法のデモンストレーションなど、より充実した一日になるだろう。また、参加者全員にお茶が振舞われる予定だ。

主催のマッキオンみどり州立大学教授は「茶人以外の方にもより多く参加していただき、日本文化の国際発信によって、平和と親善に役立てたい」と第二回会議の成功を目指している。お問い合わせは、Prof. Midori McKeon (mmckeon@sfsu.edu) まで。

（文責：オブライアン真佐子）

先生の紹介欄



先生の紹介欄

小笹知子先生



➤ お名前を教えてください。
小笹知子（こざさともこ）です。

➤ 教えている学校名、町を教えてください。
カリフォルニア州立大学フレズノ校です。
カリフォルニア州フレズノ市にあります。

➤ 日本語教師はいつから？
正式には、2005 年の秋学期からです。

➤ ご趣味は？
一番の難問です。（汗）
茶の湯、クラシック音楽鑑賞、ヨガ

お茶は、高校生になった時に始めました。現在は、時々サンフランシスコのお茶会に参加させて頂く程度です。

クラシック音楽は、フレズノでは鑑賞する機会を見つけるのはあまり簡単ではありませんが、大学の音楽学部主催のコンサートにはよく出掛けます。年に2~3度サンフランシスコに出掛けて行きます。

ヨガは、3年ほど前から Bikram yoga（ホットヨガ）を始めました。当初は週3~4回通っていましたが、あまり、まじめな生徒ではないので、気が向いた時に（今は、月に1~2度）汗を流しています。

以上、表向きの答えを書いてみました。本当の答えは、ボーっとしていること、猫と一緒に昼寝すること、下手な料理をして、誰彼構わず犠牲者を見つけてはそれを食べさせることです。

➤ 日本の出身地は？

岡山県倉敷市です。

➤ アメリカに来てから何年ですか。

アメリカに移住したのは 1986 年です。

➤ 仕事について、何か一言お願いします。

子供の頃から、いろんなことに興味があり、何事もそれなりに器用にこなすのですが、ひとつのことを忍耐強く続けることは苦手でした。それで、一時間ごとに教科の変わる小学校教員に向いていると母に暗示をかけられ（笑）教育学部に進みました。まさか、アメリカで日本語を教えることになるとは思ってもいませんでしたが、教職は私の天職と、受け止めています。

現在は、日本語教育を通じて、日本の文化の美しさや日本人の心を伝えることを目標に励んでいます。日本が大好きなんです。

日本語を一生懸命勉強している学生たちを見ると、嬉しくなります。

➤ 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

フレズノは日本語教育にとっては、過疎地です。日本人や日本語にふれる機会があまりありません。それでも、30余年続いてきており、予算削減のあおりを受けながらも、日本語履修学生数は減少していません。この先輩の先生方が築いて下さった日本語教育の場を、これからのグローバルな世界に対応していけるようなものに発展させたいと励んでいます。

北カリフォルニアで、日本語教育に熱心にとりくんでいらっしゃる先生方と一緒に勉強させて頂きたいと思い、入会致しました。どうぞよろしくお願い致します。

湯川景子先生

➤ お名前を教えてください。

湯川景子（ゆかわけいこ）と申します。

➤ 教えている学校名、町を教えてください。

サンフランシスコにある非営利団体 Japan Society of Northern California で教えています。

➤ 日本語教師はいつから？

2001 年にオーストラリアのタスマニア島にある小学校で日本語教師のボランティアをしたのが最初です。その後しばらく日本の公立学校で教師をしていたので、日本語教育からは遠ざかっていたのですが、2006 年にアメリカに移住し、サンフランシスコにある金門学園で TA として再び日本語教育に関わらせていただくようになりました。

➤ ご趣味は？

自転車です。舗装された道もされていない道も走ることができるシクロクロスという自転車に乗っています。天気の良い日にはよくイーストベイの丘の上にある公園に行き、そこでオフロードを楽しんでいます。自転車で丘を登りながら見るサンフランシスコの景色は最高です。



編集後記



北加日本語 教師会連絡先



➤ 日本の出身地は？

和歌山県です。みかんや梅干しをたくさん食べて育ちました。

➤ アメリカに来てから何年ですか。

6年半です。

➤ 仕事について、何か一言お願いします。

昨年、日本語の修士を取ったばかりでまだまだ学ぶ事の多い毎日です。思うような授業ができず、反省することも多いのですが、努力すればするほど仕事が楽しくなるので、私にとって日本語教師はとてもやりがいのある仕事です。クラスで生徒と接している時や、クラスの事を考えながら授業の準備をするのはとても楽しく、好きなことを仕事としてさせていただける有り難さを日々感じています。言語を学ぶことはとても大切だと思っているので、今後もずっと日本語教育に携わっていきたいと思っています。より良い授業ができるよう、「教える」立場にいる自分自身が「学ぶ」ことに食欲であり続けたいと思っています。

➤ 会員みなさんへのメッセージがあればどうぞ。

いつも NCJTA の例会や学会で先生方にお目にかかれるのを楽しみにしています。まだまだ未熟者ですが、これからも皆様からたくさんの事を学ばせていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

NCJTA ニュースレターは皆様のご協力の賜物。今回のニュースレターも、かの名誉ある ACTFL「ティーチャー・オブ・ザ・イヤー」を日本人として初めて受賞された安座間先生をはじめ多くの方々のご協力のおかげで作成することができました。有難うございました。次回も皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。日本語教育関係のお知らせ、ニュースの掲載などをご希望の方は、どうぞ下記までご連絡ください。

須田: sudak@usfca.ecu

オブライアン: masakoshimizu@sbcglobal.net

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.org/>

NCJTA. c/o Fumiko Grant

City College of San Francisco, A58

50 Phelan Avenue San Francisco, Ca 94112

(415) 452-5106

E-mail: fgrant@ccsf.edu

<役員>

会長: Fumiko Grant グラント文子 (同上)

副会長: Nobuko Takamatsu 高松信子

City College of San Francisco/San Francisco State University

E-mail: nobukot@sbcglobal.net

書記: Junko Ito 伊藤潤子

University of California, Davis

E-mail: jito@ucdavis.edu

会計: Kimiyoshi Inomata 猪俣公克

City College of San Francisco

E-mail: kinomata@ccsf.edu

ニュースレター編集 : Kyoko Suda 須田恭子
University of San Francisco
E-mail: sudak@usfca.edu

フランク連絡員: Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu

<各レベル代表>

小学校代表 : Takeko Morioka 森岡妙子
Rosa Parks JBBP Elementary School
E-mail: taeko3568@aol.com

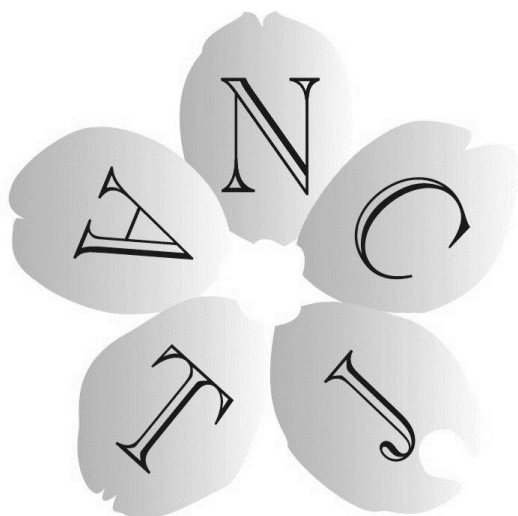
中学校代表 : Masako O'Bryan オブライアン真佐子
E-mail: masakoshimizu@sbcglobal.net

高校代表 : Tomokazu Morikawa 森川知計
George Washington High School
E-mail: tomokazu28@gmail.com

学園代表 : Minakao Maki 真木 実奈子
San Mateo Nippon Gakuyen
E-mail: minakomaki@hotmail.com

コミュニティーカレッジ代表 : 空席

大学代表 : Wakae Kambara 神原若枝
University of California, Berkeley
E-mail: wkambara@berkeley.edu



Northern California Japanese Teachers' Association



春の例会
お弁当申し込み用紙

DEADLINE: April 17 (必着) 2013

Please complete the form and check (non member) and mail to:

Kimiyoshi Inomata
City College of San Francisco
50 Phelan Avenue A48
San Francisco, CA 94112

<NCJTA member>

Name: _____

Email address: _____

School Position: _____

School: _____

Circle VEGETARIAN or NON-VEGETARIAN (TONKATSU)

.....

< Non-member >

Name: _____

Email address: _____

School Position: _____

School: _____

Circle VEGETARIAN or NON-VEGETARIAN (TONKATSU)

Box Lunch -----\$15.00

Check # _____

***Please make your check payable to: NCJTA**



北加日本語教師会

会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。2013年度分の会費は **2013年1月1日から2013年12月31日まで有効となっております。**

年会費 一般\$15、学生\$5 Check payable to: NCJTA

Mail to: Kimiyoshi Inomata

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A48, San Francisco, CA 94112

(新規・継続) どちらかにマルをつけてください。

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

領収書 (要・不要) どちらかにマルをつけてください。

.....き.....り.....と.....り.....線.....

住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Kimiyoshi Inomata

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A48, San Francisco, CA 94112

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

新氏名 (漢字/カタカナ) :

(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

北加日本語教師会・役員立候補届用紙

現在、以下の役職が空席となります。立候補されたい役職に○をつけてください。

	会長		書記
	会計		高校代表
	コミュニティーカレッジ代表		大学代表

役員に立候補ご希望、もしくはご推薦されたい方はこの用紙にご記入の上、下記の住所までご郵送下さい。
(4月17日必着 Grant まで)

宛先: **Fumiko Grant**

City College of San Francisco, 50 Phelan Avenue A58, San Francisco, CA 94112

お名前 (日本語) _____
(ふりがな) _____

お名前 (英語) _____

Position Statement (なぜその役職に興味があるのか簡単・簡略に述べてください。)

連絡先:

E-mail:

Tel:

勤務先: